



講座のアピールポイント

当救命救急センターでは臨床研究を中心に、教育に関する研究も積極的に実施しています。また、他施設共同研究では主に災害派遣精神科医療チームや蘇生に関する研究活動に参加しています。蘇生に関する臨床研究により地域における特徴を把握することは、救命率の改善につながる可能性があるため、地域メディカルコントロールにおける活動の一つとして積極的に実施しています。救命率の改善には一般市民における蘇生介入が重要であり、教育研究と関連した講演会や講習会なども定期的を開催しています。研究の一環として救命救急センターに関わる医療スタッフ、地域医療に関与する救命士などを対象とした教育プログラムを実施することで地域における救急医療の発展に貢献しています。



獨協医科大学埼玉医療センター
救命救急センター

講座研究紹介

- 心肺停止後自己心拍再開患者における神経学的予後予測に関する臨床研究
心肺停止の状態で搬送されてくる患者さんの予後を改善するための研究や予防に関する教育活動についての研究を積極的に行っています。
- 外傷に関わる臨床研究
重症外傷で搬送された患者さんの外科的治療や整形外科的治療に関する研究や交通事故における事故形態と障害に関わる調査研究を行っています。
- 医学教育・医療訓練に関する研究
シミュレーションを用いた学生や研修医教育の研究、超音波ガイド下中心静脈穿刺に関わる研究、教育設計についての検討を行っています。
- 災害派遣精神科医療チーム（DPAT）の活動に関する研究
災害時に早期介入が求められる精神科医療および精神保健活動の支援に深く関わっています。災害時の活動についての他施設共同研究を行っています。